令和４年度事業報告書

１　好循環型地域づくりの推進

１－１　つながる地域づくり

（１） 地域住民活動・ボランティア活動等の推進

①住民主体の社会参加・福祉活動の推進

福祉の領域だけでなく、人・分野・世代を超えて相互に支え合う・支えられる住民参加の連携・協働の体制づくりを目指して、住民組織や当事者組織、団体・グループ等の地域活動、人材確保・育成を支援した。

○地域福祉活動等助成事業

項目	件数	助成先	金額
福祉団体への運営費助成	０件		０円
自主的に地域振興の推進活動を行う団体やグループに活動費の助成	３件	村市地区会 藤川地区会 西目屋児童クラブ	50,000 円 50,000 円 50,000 円
学校に福祉教育・ボランティア活動費の助成	１件	西目屋小学校	50,000 円

②ボランティア活動の推進

ボランティア活動等に関する理解と関心を深めるとともに、個人及び組織的な活動の育成援助を行い、体験することによって気づきがあり、知ることで行動できる実践活動を行った。

○ボランティア・地域活動サポート事業

項目	件数
ボランティア登録数	個人 37 件
	団体４件
ボランティア活動保険等の取扱い	10 件
ボランティア・地域活動の連絡調整	５件
ボランティア・地域活動の企画及び実施	０件

③社会福祉団体への支援

地域の社会福祉関係団体と協働して各事業を展開し、支援を行った。

○西目屋村老人クラブ連合会

○西目屋村身体障害者福祉会

○西目屋村遺族会

○西目屋村共同募金委員会

○日本赤十字社青森県支部西目屋村分区

○西目屋村赤十字奉仕団

④物品貸出事業

所有する物品等を貸出すことにより、日常生活支援、社会参加、または地域福祉の向上に努めた。

○物品等貸出事業

貸出状況：7 件

⑤生活支援・介護予防サービスの充実を図る協議体への参画

住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みることができるよう、生活支援コーディネーターの組織的な補完、地域ニーズの把握、情報の見える化の推進、企画・立案・方針の策定、地域づくりにおける意識統一の場等の支援に努めた。

○生活支援体制整備事業

日付	内容等	備考
R4/8/8(月)	地域力強化戦略検討委員会 （会場：西目屋村中央公民館）	7 名
R4/9/30(金)	地域力強化戦略検討委員会 （会場：西目屋村中央公民館）	6 名
R4/11/20(日)	地域力強化実践会議（田代地区） （会場：田代交遊館）	20 名
R4/11/20(日)	地域力強化実践会議（村市地区） （会場：村市いこいの館）	10 名
R4/12/20(火)	地域力強化戦略検討委員会 （会場：西目屋村社協）	7 名
R4/12/23(金)	地域共生社会の実現に向けた制度学習会 （会場：西目屋村役場）	27 名
R5/1/27(金)	地域力強化戦略会議 （会場：西目屋村社協）	7 名

（２） 福祉意識の向上

①住民への福祉教育の充実

多分野と連携しながら、住民の身近な生活課題や疑問、地域づくり、ボランティア活動に関する情報提供、知識と技術の習得など体験や学習を通じて個々の資質向上に努めた。

○スキルアップスクール事業

日付	内容等	備考
R4/11/28(月)	講話　お金に関わるくらしの問題 講師　消費者信用生活協同組合 青森県家計改善支援室　室長　吉田　慎二　氏 （会場：西目屋村中央公民館）	5 名

②児童への福祉教育の支援

福祉教育の推進を図るため、村内の学校をボランティア活動推進校に指定し、地域や施設利用者との交流、ボランティア体験、環境保全活動等を行い、社会福祉への理解と関心を高め、心豊かな人材育成を支援した。

○ボランティア活動推進校事業

西目屋村立西目屋小学校を推進校に指定

（３） 地域における集いの場の整備

①いつでも、だれでも集える場の構築

仲間づくりと生きがいの充実、サロンの役割を啓発し、多様なサロンの拡充に努めた。

○住民主体型ふれあいサロンへの支援

内容等	備考
田代地区ふれあいサロン　会場：ブナの里白神館 開催回数：8 回　述参加者数：76 名	
大白地区ふれあいサロン　会場：大白温泉浴場 開催回数：17 回　延参加者数：120 名	
村市地区ふれあいサロン　会場：グリーンパークもりのいずみ 開催回数：20 回　延参加者数：125 名	

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止期間あり。

②集いの場への支援

地域住民が主体的に集う場所の立ち上げやその活動が維持されるよう、情報提供や取組みへの支援を行った。

③社会参加の促進

全世代を対象とした社会参加活動や学習活動、当事者の交流会等の心豊かに生きがいの充実を得る機会の情報提供をした。

○敬老会事業

内容等	備考
新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止とし、対象者に祝状を送付した。 長寿者顕彰対象者：25 名 金婚夫婦顕彰対象者：3 組	

（４） 誰もが暮らしやすい環境の整備

①区域における地域ネットワークの強化

住民自らが、区域ごとの取組みを主体的に行うことができるようサポートに努めた。

１－２　支え合う地域づくり

（１） 相談支援体制の充実

①心配ごと相談所の充実

3 区域に心配ごと相談員を配置し、地域住民の日常生活上のあらゆる相談に対応するとともに相談員に対する指導及び研究・研修を行った。

○心配ごと相談所事業

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	16 件	健康･衛生	5 件	教育・青少年	0 件
年金	0 件	医療	4 件	心身障害児者福祉	5 件
職業･生業	3 件	精神衛生	0 件	母子福祉・父子福祉	0 件
住宅	32 件	人権･法律	0 件	老人福祉	19 件
家族	4 件	財産	1 件	苦情	1 件
結婚	0 件	事故	0 件	その他	3 件
離婚	4 件	母子保健・児童福祉	1 件	相談件数合計 100 件	

②広域法律相談所の充実

津軽地区 6 市町村社会福祉協議会が協力し、法律相談所を開設して複雑・専門的な相談内容に対応した。

○広域法律相談所事業

内容等	備考
R4/9/30（金）開設　会場：西目屋村中央公民館 相談件数：3 件　相談員：弁護士	

（２） 地域関係者及び関係機関等との連携

①民生委員・児童委員等との連携強化

民生委員児童委員協議会定例会に出席し、地域関係者や関係機関と常に情報共有を行い直面する課題を共に考え、必要な情報提供及びサポート体制を整え、相談・支援のための活動基盤の整備と行政とのパートナーシップをさら高めた。

（３） にしめや相談支援機関ネットワークの確立

①にしめや相談支援機関ネットワークへの協力

にしめや相談支援機関ネットワークを確立し、複合的な課題へ必要な相談支援が円滑に提供されるよう協働するとともに、安定した相談対応に努めた。

○にしめや相談支援機関ネットワーク会議

開催回数：13 回

②自立相談支援機関への情報提供

複雑・専門的な問題で専門職による多方面からの包括的な支援を必要とする場合は、中南地域自立相談窓口に情報提供を行い、連携して支援を行った。

（4） コミュニティワークの強化

①コミュニティワークの強化

地域変革に挑戦する意識をもち、コミュニティワークの向上に努めた。

②アウトリーチの徹底

地域に出向くことにより、日々の暮らしや地域の中で潜在化する生活課題を把握し、関係機関や民生委員等と協働して地域を基盤とした必要な支援や働きかけにより課題解決につなげるよう努めた。

③西目屋村地域見守りネットワークへの参画

西目屋村地域見守りネットワークへ参加協力し、地域見守り隊として住民が地域で安心して暮らすことができるよう、支え合い活動を推進した。

２　あなたに寄り添う福祉文化の創造

２－１　他機関連携

（１） 支援関係機関によるチーム支援

①福祉専門支援チームへの参画

生活困窮者自立相談窓口支援調整会議に参加し、多分野の支援関係機関の連携により、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に行われるよう努めた。

②自立相談支援機関への情報提供と協力

抱える問題が複合的かつ複雑であり、解決が困難な場合は、中南地域自立相談窓口に情報提供を行うと供に多機関等と連携・協働し必要なサービスの活用や支援に努めた。

○支援調整会議等

相談受付件数：7 件

（２） 協働支援の中核を担う仕組みづくり

①中核的な役割を果たす機能への参画

支援を必要とする住民に対し、効果的かつ一体的に支援していくため、その役割と機能を理解するとともに、あらゆる個人・団体等との協働のネットワークにより支援体制の強化に努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R4/5/20（金）　オンライン方式 生活困窮者自立相談支援事業推進会議	職員 1 名
R4/6/2（木）　会場：板柳町公民館 第 1 回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	職員 1 名
R4/11/15（火）～16 日（水）　会場：青森県観光物産館アスパム 重層的支援体制整備支援事業人材養成研修（実践編）	職員 1 名
R4/12/12（月）　会場：県民福祉プラザ 第 2 回多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	職員 1 名
R4/12/23（金）　会場：西目屋村役場 地域共生社会の実現に向けた制度学習会	職員 2 名 参加者 25 名
R5/3/6（月）　オンライン方式 相談支援包括化推進会議	職員 1 名
R5/3/22（水）　オンライン方式 刑事事件について	職員 1 名

（３） 地域ケア会議の強化

①地域ケア会議への参加

行政が行う地域ケア会議に参加し、地域の現状について情報共有を行い、問題やニーズについて把握するとともに、課題解決に向けその支援を検討した。

○地域ケア会議

出席回数：12 回

（４） 地域住民等との連携
①地域住民や関係機関との連携による支援
　地域で安心して暮らしていくために、地域住民や関係機関との連携を強化して、支え合い活動を推進した。

２－２　横断的な支援

（１） 複合化した課題を有する者への相談支援体制の強化
①連携による協力支援
　にしめや相談支援機関ネットワークの確立により、生活困窮者の早期把握と生活困窮者を受け止める一時窓口としての機能を展開し、横断的な支援体制を強化した。

②自立相談支援機関との連携
　対象者の意識や生活の質の向上につながるよう、中南地域自立相談窓口にその解決に資する支援の協力を求め、支援関係機関が連携し、包括的に支援が行われるよう努めた。

③生活支援の充実
　低所得者、障害者または高齢者世帯に対し、経済的自立を目的に各種資金を貸付け、必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を維持できるよう努めた。
　○生活福祉資金貸付事業（窓口業務）
　　貸付件数：1 件
　○たすけあい資金貸付事業
　　貸付件数：0 件

④生活支援の充実
　食品等のロス削減と地域福祉の増進に資するため、品質に問題はないが、包装が破損している食品等や賞味期限が近いため廃棄対象となる食品、不要な贈答品、日用品を個人・団体から無償で譲受け、生活に困窮する者に必要な食品等の現物を給付して生活再建に向けた支援を行った。
　○ライフサポート事業
　　物品受入件数：11 件　給付件数：27 件
　○ひとり親家庭等支援事業
　　給付件数：10 件

（２） 自殺対策の仕組みづくり
①命を支えるネットワークの強化
　地域住民や関係機関との連携を密にし、早期発見や早期対応、自殺願望の要因となっている問題の解決に向けた相談や適切な支援体制を構築し、地域社会の一員として出番と役割を創出し、自殺予防や社会的孤立の防止に努めた。

（３） 虐待防止等の強化
①虐待等の早期発見とサポート体制の充実
　西目屋村虐待等防止協議会に参加し情報共有と支援の検討を行い、虐待等の未然防止、早期発見や早期対応等の適切な支援に協力した。

（４） 福祉サービスを必要とする矯正施設等退所後の社会復帰支援
①社会復帰支援と再犯防止への協力
　福祉サービスを必要とする矯正施設等退所者への社会復帰の支援に協力し、地域関係者の理解と協力を得ながら行政及び関係機関と連携しながら、社会的孤立及び再犯防止に協力した。

（５） 総合的な地域コミュニティの活性化
①新たな地域コミュニティの創造と支援
　福祉分野のみならず、多分野との連携・協働により幅広い視点に立ち、新しい地域福祉を推進する組織として、住民主体の多様な活動を支援し、住民の活躍の場と出番の創造や地域の生活課題に取り組む活動につなげ、地域の福祉力を高めると同時にコミュニティの活性化に努めた。

２－３　サービスの提供と利用

（１） 福祉サービスの利用に対する相談支援体制の整備
①福祉サービスの情報提供
　社会福祉協議会の活動や福祉サービスの内容など、社会福祉に関する情報を広報誌、ウェブサイトやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）など多様な情報媒体を活用して、適切な情報発信に努めた。
　○企画広報事業
　　社会福祉協議会だよりの発行（年５回/550部）
　　ウェブサイトの運営（ウェブサイトアドレス「http://nishi-shakyo.pupu.jp/」）
　　メールやLINE、Facebook等のSNSを活用した広報等の展開

②支援関係機関との連携
　サービスを必要とする地域住民に対し、支援関係機関と連携しながら支援に努めた。

（２） 共生型サービスの横断的な展開
①新たな多機能型サービスの検討
　世代を超えたつながりと役割を創造し、全世代・全対象型とした福祉サービスの提供を検討した。

②共生型サービスの充実
　高齢者等が地域社会の中で役割をもっていきいきと生活ができるよう、住民、団体、企業など多様な主体と協力しながら自らの生きがいや健康づくりにつながる活動を行うとともに、介護予防や生活支援のサービス基盤ともなる活動を検討した。

③新たな共生型サービスの検討
　高齢者等が活躍する場を構築することによって、出番と役割を創出し、生きがいを持って生活していくことができるよう検討した。

（３） 権利擁護体制の充実
①成年後見制度の利用促進
　高齢や障害などによって日常生活のしづらさを抱えた住民のニーズを的確に把握し、不利益とならないよう制度の周知と、制度の理解のための研修を実施することで成年後見制度利用推進に努めた。

②日常生活自立支援事業の利用促進
　高齢や障害により判断能力が十分でない方への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理に関する支援を行い、安心して暮らすことができるよう努めた。
　〇取組状況
　　利用件数：1 件　※3/31 現在の利用件数：1 件
　　支援回数：27 回

③日常生活あんしんサポート事業の利用促進
　福祉に関する相談に応じ助言を行い、日用品や食料品、公共料金支払い等日常生活上の消費契約及び住民票の届け出等の行政手続きに関する一連の援助を一体的に行い、安心した日常生活を送ることができるよう努めた。
　〇取組状況
　　利用件数：1 件　※3/31 現在の利用件数：1 件
　　支援回数：38 回

④福祉サービスに関する意見や苦情の対応
　地域住民からの意見や苦情に対して、迅速に対応・検討を行い、改善等につなぐことができるよう努めた。

（４） 利用者の適切なサービス選択の確保
①適切な福祉サービスの提供
　サービス利用者に対して、社協の取組みや事業を公開し、必要な人に必要なサービスを提供できるよう努めた。

（５） 安心・安全な地域づくりと日常的な見守り・支援の推進
①防災・減災対策の充実
　防災意識の向上や災害発生時の住民の安全の確保など災害対策活動を多分野と連携し、減災とすることができる地域づくりを推進した。

②防災・災害ネットワークの充実

防災意識の向上や災害発生時の住民の安全の確保などの災害対策活動を地域住民や関係機関、行政その他幅広い分野と連携に努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R4/8/15（月）8/17 日（水）8/20（土） 鰺ヶ沢町へ災害ボランティア	

③交通安全対策の充実

交通弱者の生活の不安軽減に向け、移動手段の確保など社会全体で高齢者等の生活を支える体制の整備に努めた。

④避難行動要支援者の把握

避難行動要支援者を把握するため、避難行動要支援者台帳への登録を推進した。

⑤避難行動要支援者の情報共有

関係機関と情報共有を行い、避難行動要支援者の情報更新に協力した。

⑥福祉安心電話サービスの利用促進

在宅で生活するひとり暮らし高齢者世帯等を対象に緊急時の安全と日常生活の不安解消を行い、地域住民や関係機関による支援ネットワークを築きながら 24 時間体制で見守りを行った。

○福祉安心電話サービス事業（受託事業）

設置台数：6 台　※3/31 現在

緊急通報：1 件　火災通報：0 件　停電通報：1 件　協力員対応：0 件

⑦安心見守り配食サービスの利用推進

在宅のひとり暮らし高齢者等を対象に、食事を配達し併せて安否確認を行うことによって、在宅生活の維持及び福祉の増進に努めた。

○安心見守り事業配食サービス（受託事業）

緊急対応：0 件

配食状況：

月	食数（利用人数）	月	食数（利用人数）
4 月	132 食（7 人）	10 月	185 食（5 人）
5 月	144 食（7 人）	11 月	165 食（6 人）
6 月	164 食（7 人）	12 月	195 食（6 人）
7 月	161 食（6 人）	1 月	196 食（8 人）
8 月	169 食（6 人）	2 月	221 食（8 人）
9 月	169 食（5 人）	3 月	189 食（7 人）
			合計 2,090 食

３　未来につなぐ人づくりの推進

３－１　担い手の確保育成

（１） 社会福祉従事者の資質向上

①人材育成の強化

実践において必要となる専門性の知識と技術の必要性が高まるなか、これを向上させるため、多種多様な学習の機会の実施・参加して社会福祉従事者の資質の向上に努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R4/6/27（月）　会場：弘前市社会福祉センター 日常生活自立支援事業専門員・生活支援員研修会	職員１名 支援員１名
R4/8/9（火）　オンライン方式 市町村社協におけるフードバンクに関する説明会	職員１名
R4/9/30（金）　オンライン方式 地域共生社会の実現に向けた多様な主体による取組の最新動向	職員２名 参加者４名
R4/10/14（金）　会場：西目屋村中央公民館 終活セミナー	職員２名 参加者 15 名
R4/10/21（金）　会場：板柳町公民館 津軽広域心配ごと相談員・担当職員合同研修会	職員１名 参加者１名
R4/11/15（会）　会場：弘前パークホテル 津軽広域社協職員研修会	職員２名
R4/11/25（金）　オンライン方式 青森県市町村社協連絡会権利擁護部会	職員１名
R4/11/29（火）　オンライン方式 高齢者権利擁護意思決定支援研修	職員１名
R4/12/16（金）　会場：田舎館村文化会館 社会福祉協議会地域福祉活動推進会議	職員２名 参加者１名
R4/12/21（水）　オンライン方式 社会福祉法人による「青森県型地域共生社会」西北モデル強化事業合同研修会	職員１名
R4/12/23（金）　会場：西目屋村役場 地域共生社会の実現に向けた制度学習会	職員２名 参加者 25 名
R5/1/13（金）　会場：弘前パークホテル 津軽広域社協委員研修会	職員２名 参加者１名
R5/2/14（火）　会場：西目屋村社会福祉協議会 相談技法研修会	参加者２名

②ソーシャルワーク体制の整備

ソーシャルワークについて再考し、状況に応じた援助技術を実践しながら、柔軟で地域に即した取組みを検討した。

（２） 新たな取組みへの支援

①地域における公益的な取組み

新たな地域貢献として、公益的な取組みを実施できるよう検討した。

②多様な福祉活動の連携と促進

地域福祉活動の活性化を推進するため、公的法人と民間事業者としての役割を発揮し、コーディネート機能を強化して、多職種・多団体、民間の社会福祉施設や企業等の地域福祉活動など多様な活動や新たな取組みの活動の充実に努めた。

〇取組状況：

内容等	備考
R4/12/26（金）　会場：西目屋村中央公民館 食育調理実習	職員１名

（３）地域福祉を推進する人材の養成

①民生委員児童委員への支援

住民が抱えている課題の早期発見及び解決に向かうよう支援協力に努めた。

②民生委員児童委員の活動の周知

民生委員児童委員の活動を住民に周知することにより、活動への理解と関心を深めた。

③民生委員児童委員の資質向上

民生委員児童委員の資質向上を促すため、学習の機会や情報提供を行った。

④情報の共有

個人情報に配慮しながら、必要な情報の共有を行った。

３－２　多様な財源の活用、効率的な事業の実施

（１） 多種多様な財源の活用

①各種財源の情報提供

地域福祉活動を支えるため、公的財源や民間財源など地域の実情に応じた多様な財源の活用について、情報提供に努めた。

②活動財源の確保

極めて公共性の高い地域福祉を推進する中核的な組織であることを重視して、存在意義を明確にし、行政に理解と協力を積極的に働きかけ、住民主体の地域福祉活動のさらなる推進に向け、地域の実情に応じた活動に活用するため、多様な財源の確保に努めた。

③共同募金助成金の確保

住民互助のたすけあいを基本とし、地域住民の理解を得て透明性のある誰もが参加しやすい共同募金運動の展開により、財源の確保に努め、募金実績より助成される財源を活用し、地域福祉の向上を図った。

○共同募金助成金事業

事業件数：7 件（420,000 円）

○新型コロナウイルス感染症対策支援活動助成事業

事業件数：1 件（100,000 円）

（２） 各種事業の連携

①関係機関等との連携と一体的な事業の実施

事業の実施にあたり、対象者を区分せず多分野協働で参画し、地域づくりを育む仕組みを展開することによって、効果的な活動の支援と実践に努めた。

②多分野連携の効率的な事業の実施

福祉・保健・医療関係者及び他分野の連携による心豊かに安心して暮らせる社会福祉を目指し、住民及び関係者相互の理解と連携をより一層深めることができるよう検討した。

○社会福祉大会事業（休止年度）

③買物支援の検討

買物支援の取組みについて、地域の実情に合った仕組みを地域住民や関係機関等と連携し、複数の事業を一体的に実施できるよう検討した。

４　法人経営の基盤強化

４－１　経営体制及び組織体制の確立

（１） 理事会・評議員会の充実

①理事会の状況：

内容等	備考
R4/6/3（水）　決議の省略 第１回理事会 報告事項　①監事監査の結果について 決議事項　①令和３年度事業報告について ②令和３年度収支決算について ③令和４年度第１次収支補正予算について ④理事候補者２名の選定について ⑤評議員候補者４名の推薦について ⑥評議員選任・解任委員会の招集について ⑦定時評議員会の招集について	
R4/10/20（木）　会場：西目屋村中央公民館 第２回理事会 報告事項　①会長の職務の執行状況について 決議事項　①事務所の移転について ②定款の変更について ③就業規則の一部改正について ④育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ⑤会長表彰等の被表彰者の選考について	理事６名 監事２名
R5/3/10（金）　会場：西目屋村社会福祉協議会 第３回理事会 報告事項　①会長の職務の執行状況について 決議事項　①令和４年度第２次収支補正予算について ②令和５年度事業計画について ③令和５年度収支予算について ④給与規程の一部改正について ⑤役員等賠償責任保険契約の締結について ⑥評議員会の招集について	理事８名 監事１名

②評議員会の状況：

内容等	備考
R4/6/24（金）　会場：西目屋村中央公民館 定時評議員会 報告事項　①監事監査の結果について 決議事項　①令和３年度事業報告について ②令和３年度収支決算について ③令和４年度第１次収支補正予算について ④理事２名の選任について	評議員 11 名 理事１名 監事１名
R5/3/23（木）　会場：西目屋村社会福祉協議会 第２回評議員会 決議事項　①令和４年度第２次収支補正予算について ②令和５年度事業計画について ③令和５年度収支予算について ④定款の変更について	評議員 13 名 理事１名

③監査の状況：

内容等	備考
R4/5/16（木）　会場：西目屋村中央公民館 監事監査 ①令和３年度の職務の執行状況及び重要な決裁書類等を閲覧、業務及び財産の状況の調査。また、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書の検討 ②会計帳簿又はこれに関する資料の調査、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録の検討	監事２名 理事１名

（２） 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員の選任及び解任を行うための機関として常時設置し、必要に応じて迅速に対応できるよう適切な運営に努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R4/6/7（火）　会場：西目屋村中央公民館 第１回評議員選任・解任委員会 決議事項　①評議員４名の選任について	委員３名

②資金貸付調査委員会

たすけあい資金の貸付けに関し、必要に応じて審査・決定等について意見を述べ、必要な支援を行うための機関として常時設置し、必要に応じて迅速に対応できるよう適切な運営に努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R5/3/20（月）　会場：西目屋村社会福祉協議会 第１回資金貸付調査委員会 ①たすけあい資金貸付事業の状況について ②生活福祉資金貸付事業の状況について	委員３名

③地域福祉活動計画策定委員会

地域福祉活動計画の管理について、必要に応じて協議できるよう適切な運営に努めた。

（３） 行政、関係機関、各地区会等との連携

①行政との連携強化

青森県型地域共生社会の実現に向け、行政とのパートナーシップを更に高め行動するとともに、世代や分野を超え連携した活動や新たな取組みへの挑戦を協働して実施できるよう努めた。

○取組状況：

内容等	備考
R4/6/2（木）　会場：板柳町公民館 多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	職員１名
R4/12/12（月）　会場：県民福祉プラザ 多機関協働事業等に係る町村役場及び町村社協担当者会議	職員１名
R4/12/23（金）　会場：西目屋村役場 地域共生社会の実現に向けた制度学習会	参加者 25 名 職員２名

②津軽広域社会福祉協議会連絡協議会への参加協力

弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村及び板柳町の各社会福祉協議会が相互の地域福祉活動の推進について、津軽広域社会福祉協議会連絡協議会を組織し、単独では解決が難しい支援体制を連携して企画及び実施し、援助することによって、広域的な基盤強化及び福祉向上に努めた。

③青森県市町村社会福祉協議会連絡会へ参加協力
　社会福祉協議会が直面する諸問題を明らかにし、その自主的解決のために必要な情報の共有、研鑽、研究・協議等を協働して行い、安定した法人経営に向け基盤強化を図り地域福祉の推進に努めた。

④地区会との連携強化
　住民組織である地区会と連携を強化することにより、福祉への理解と関心を深め、住民主体活動の強化に努めた。

４－２　役職員の体制

（１）組織管理体制の強化
①役職員の共通理解
　本会が具体的に「どのような地域を目指しているか」、そのために「事業等をどのように進めていくのか」など組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、役職員が共通理解をもって日々の実践に努めた。

②役員研修会の実施
　新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。

③職員育成の体制づくり
　実践において必要となる専門性の知識とスキルが高まるなか、職員の各種研修への参加や実施、職員育成の体制づくりの取組みなど、すべての職員にとって「働きやすく、やりがいの感じられる」職場づくりに努めた。

４－３　経営状況の把握

（１） 社会福祉事業全体の動向の把握及び分析
①地域住民との情報交換
　地域の現状や問題点、将来像に関する住民の意識共有に努めた。

②自己評価の実施
　サービスの質の向上に向け、事業運営における問題点の把握、活動の一定の平準化、より質の高い活動に向けた組織体制の整備、教育的効果、ニーズの的確な把握を行った。

③PDCAサイクルの継続実施
　しっかりとした計画を立て、高いパフォーマンスを発揮する意識を持って行動し、より良い方法を模索しながら新たな取組みを検討した。

４－４　財政基盤の整備

（１） 活動財源の確保

①自主財源の確保

公的財源のみならず、事業を継続的かつ安定的に実施するために、会員の継続加入の維持に努めた。

〇一般会員　407,000 円（407 件）

〇賛助会員　2,000 円（1 件）

〇団体会員　55,000 円（9 団体）　※敬称略・順不同

・株式会社津軽事務機

・檜山商店

・株式会社クワタ開発

・三友堂太田印房

・一般財団法人ブナの里白神公社

・西目屋村建築組合

・西目屋村建設協会

・西目屋村老人クラブ連合会

・西目屋村遺族会

〇寄付金　12,000 円（8 件）

〇福祉バザー　※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。